

広域人事だより

<第14号>

(令和2年11月6日発行 北海道教育庁教職員局教職員課人事企画係)

広域人事で異動された先生方から近況報告をいただいたので、御紹介させていただきます。

「広域人事だより第14号」執筆協力者

頁	管内	市町村名	学校名	氏 名	異動元管内、所属等				広域人事 異動年月日
					区分	管内名	市町村名	学校名	
1	石狩	千歳市	北陽小	高橋 瑞季	若手	後志	共和町	北辰小	H31.4.1
2	石狩	北広島市	東部小	山本 唯	若手	日高	えりも町	庶野小	R2.4.1
3	後志	黒松内町	白井川中	横井 宏恵	中堅	空知	滝川市	明苑中	R2.4.1
4	胆振	安平町	早来小	佐藤 卓朗	中堅	石狩	千歳市	信濃小	R2.4.1
5	上川	士別市	士別小	高松 修太	若手	才木	西興部村	西興部小	H31.4.1
6	宗谷	浜頓別町	浜頓別小	西坂 紳吾	若手	林-ツ	滝上町	濁川小	R2.4.1
7	林-ツ	雄武町	雄武中	相澤 紗香	中堅	十勝	鹿追町	鹿追中	R2.4.1
8	釧路	釧路市	昭和小	大城 卓也	若手	根室	別海町	別海中央小	R2.4.1
9	留萌	羽幌町	天売小	須河 浩美	離島 (中堅)	後志	寿都町	潮路小	H30.4.1
10	宗谷	利尻富士町	利尻小	伊藤 ちえこ	離島 (中堅)	十勝	帯広市	森の里小	H31.4.1
11	宗谷	利尻富士町	鷺泊中	中松 あづさ	離島 (中堅)	空知	雨竜町	雨竜中	R2.4.1
12	宗谷	利尻富士町	鬼脇中	熊谷 恒平	離島 (中堅)	根室	根室市	海星中	H31.4.1

氏名	高 橋 瑞 季	現任校	千歳市立北陽小学校（石狩）	前任校	共和町立北辰小学校（後志）
----	---------	-----	---------------	-----	---------------

○地域・学校の様子

「未来へはばたく 空の玄関 千歳」「きらめく水の底 支笏湖」「元気のかたまり 北陽小」

先日、6年生の道徳の郷土愛の授業で、子どもたちが考えた我が町千歳のキャッチコピーです。新千歳空港、透明度の高い支笏湖、そして何より、我が学校は日本一の児童数(約1500名)を誇るマンモス小学校。千歳の名物は?と聞くと、ほとんどの子が、北陽小学校がベスト3に入ります。自分の小学校に誇りをもっている素敵な子どもたちです。これだけの規模なので、廊下には衝突防止の中央線が引かれ、休み時間のグラウンドは高学年と低学年に分けて使用しています。このように、生活のあらゆるところでの北陽ルールがたくさんあるので、子どもたちは規範意識が身に付いていきます。



↑全校児童が入った体育館

○現任校での勤務状況

昨年度は5年生担任、今年度は持ち上がりの6年生担任。学級は38名、学年は7クラスで264名です。したがって、7名の担任団で学年経営をしています。毎週初めに学年打ち合わせを行い、翌週の時間割を調整しています。その中で教科担当を中心に各単元の指導計画や今年度から施行された3観点での評価の仕方について検討しながら授業準備を進めています。担任が多い利点は、単元の中で子どもたちにどのような力を育成するのか、また授業の中でどのような姿を見取り、評価につなげていくかという視点で教材研究ができることです。



↑学年264名の遠足は大名行列です!



○地域の特性を生かした学習「ほくほくプロジェクト」

「ここ(千歳)ではバケツで稲を育てるのかぁ…」北陽小に赴任して5年生を担任し総合的な学習の時間で感じたことです。前任校の共和町は米どころで、5年生を担任した時に、子どもたちと田植えから稲刈りまで保護者の農家さんの協力を得て体験してきたので、北陽小での総合的な学習の時間が始まった当初、共和町の米作りを千歳の子たちに伝えられないものかと感じていました。私が言葉で話して伝えるのは難しい…。そこで考案したのが学校間交流です。5年生の学習内容は同じ。それならば、共和町の5年生と直接子ども同士で学習を進めていくことで、互いに深め合うことができる。そうして立ち上げたのが「ほくほくプロジェクト」(お互いの校名の「北」をとって命名)。

北辰小学校の5年生はたったの8名。片や我が北陽小は264名。地域や環境が大きく違う中で、それぞれ地域の特性を生かし、自分たちの地域に合わせた稲の学習を交流するだけでなく、自分たちの地域や学校のよさを伝え合うことで、自分たちの学校や地域のよさを再認識するとともに、仲間意識を育てていくことを、この学校間交流のねらいとしました。

苗植えから秋の稲刈りなど年間を通して学習の様子を動画に撮り、ビデオレターを交換したり、スカイプ交流でリアルタイムで自己紹介や自校紹介をしたり、学習の成果を伝え合いました。12月には、共和町で育てた稲のわらで作ったしめ縄のプレゼントをサプライズでもらうという素敵な交流となりました。このように、広域人事を通して異なる地域を知ること、学年団や前任校の先生方の協力のもと、その地域のよさを生かした学習を実践することができました。



↓スカイプ交流



氏名	山 本 唯	現任校	北広島市立東部小学校（石狩）	前任校	えりも町立庶野小学校（日高）
----	-------	-----	----------------	-----	----------------

○地域・学校の様子

北広島市は石狩管内のほぼ中央に位置する都市です。人口は約6万人。JRや高速道路が通っており、北海道の中心地である札幌市や新千歳空港がある千歳市などへのアクセスが整っています。プロ野球チームの日本ハムファイターズの新球場（ボールパーク）が2023年に開業予定することでも話題になっています。

北広島市立東部小学校は、今年で創立128年を迎えた学校です。学校がある東部地区は市役所や駅などがあり、開拓時から中心だった所です。児童数は約360名。各学年2学級ずつあり、学年団・低中高のブロック学年・そして全校の職員で連携・協力しながら働いています。

北広島市は来年度（令和3年度）の小中一貫教育全国サミット開催都市であり、市内それぞれの小中学校区で小中連携の在り方について研究を進めています。



○現任校での勤務状況

今年度は3年生の学級担任をしています。各学年2学級あるので、学年の先生と連携しながら授業を進めたり行事の打ち合わせをしたりしています。校務分掌は研修部で、校内研究の検証等に携わっています。また、市の研究会である「広教研」、石狩管内の研究会である「石教研」の学校担当として、連絡や報告などを行っています。

いずれの仕事についても、まわりの先生方が丁寧に指導・助言してくださり、新たに学ぶことが多く大変勉強になっています。



朝の読み聞かせの様子

○生活の様子

教員住宅はないので、学校の近くにあるアパートを借りて生活しています。周辺にはスーパー・コンビニなどがあり日常の買い物には困りません。札幌市の清田区・厚別区と隣接しており、大型のショッピングモールやスポーツ用品店・ホームセンターなどにも20～30分で行くことができます。ただ現在は新型コロナウイルス感染防止のため、人の出入りの多い場所へ行くことは必要最低限にとどめています。



自転車教室の様子

○その他

小規模校しか経験してこなかったという経歴のため、異動した当初は仕事の進め方について戸惑うことがたくさんありました。しかし、周りの先生方の支援や指導助言により、新たな技能を身に付けることができていると感じています。これからたくさんのことを学び、また自分の得たものを子どもたちのために役立てていきたいです。



社会科見学の様子

氏名	横井 宏恵	現任校	黒松内町立白井川中学校（後志）	前任校	滝川市立明苑中学校（空知）
----	-------	-----	-----------------	-----	---------------

○地域・学校の様子

黒松内町は、北海道南西部、後志管内の南端にあり、札幌市と函館市のほぼ中間点に位置します。

北は寿都町を経て日本海を臨み、南は長万部町を経て太平洋を臨んでいます。日本海と太平洋の双方からの影響を受けるため、春から夏にかけて南南東の風が噴火湾で発生する濃霧を運んで低温となるなど、独特の現象が見られます。反対に、冬は日本海からの北北西の風が吹き、大量の雪をもたらすため、道南における多雪地帯といわれています。

町内には北限のブナ林として、1928（昭和3）年に国の天然記念物に指定された歌才（うたさい）ブナ林があり、2004（平成14）年10月22日北海道遺産にも選定されています。

白井川中学校は全校生徒6人、教職員も6人という小規模校です。近くに白井川小学校があり、小中での交流が盛んです。地域の方々にも協力いただいて行う行事が多く、地域とのつながりが強い学校です。



○現任校での勤務状況

今年度は全学年の副担任をしています。1年生と3年生の国語と社会、全学年の技術家庭を教えています。

今まで12学級以上の比較的大規模校に勤務することが多かったので、1つの授業を生徒に合わせて4回ほどくり返すことがほとんどでした。今は、毎日4時間から5時間分の教材研究に追われ、複数の教科を指導する小学校の先生方大変さを実感しています。教材研究は大変ですが、授業は2人から3人で行うので、密度が濃いです。生徒たちは発問される度に自分の考えを発表することになるので気が抜けません。また、コロナの関係で、2学期開始から約1ヶ月半、Zoomでオンラインの生徒と、対面の生徒を同時に教えることになりました。タイムラグで対話が難しかったり、宿題の回収をメールで行ったり、タブレット越しに弁論大会に出場してもらったりと、なかなかない体験ができました。



分掌では大きく分けて、生徒会と研修と進路を担当しています。研修と進路を担当するのは初めてなので、ミスしないように……と思っているのですが、なかなかうまくいっていません。複数の分掌の仕事を同時に進めていくと抜けることが多々出てきそうなので、周りの先生方と声を掛け合って、力をお借りしながら進めているところです。

○生活の様子

学校周辺には郵便局や道の駅があり、おいしいパンやピザ、旬の野菜などを購入できます。スーパーやコンビニ、診療所などは約10km離れた黒松内本町にあります。学校の周りに教員住宅はありますが、私を含め、教職員の半数は黒松内本町から通っています。生活する上で特に不自由はありません。大きな買い物をするときは、車で1時間の伊達市に行くことが多いようです。

○その他

来てみないとわからないことがたくさんあります。今までの経験が全てではないことを実感し、若手に戻った(?)気持ちで勤務しています。後志に来たことで、初めて経験することがたくさんあり……登山遠足では、人生初の本格的な登山をしました。ニセコ連山、羊蹄山と自然が魅力的な地域でもあります。3年間という限られた期間ですので、教員としての研鑽だけでなく、この地方ならではの経験をたくさん積みたいとも思っています。

氏名	佐藤 卓朗	現任校	安平町立早来小学校（胆振）	前任校	千歳市立信濃小学校（石狩）
----	-------	-----	---------------	-----	---------------

○地域・学校の様子

安平町早来地区は胆振東部に位置し、苫小牧市、千歳市に隣接し、札幌市まで60km程の所にあります。気候は、夏と冬の温度差が大きく、特に冬は低い気温となります。そのため、スケートには最適となり、有名なオリンピック選手を生んだ土壌ともなっています。また、酪農・軽種馬産業、チーズ専門工場発祥の地、アサヒメロンの生産、雪だるま郵便など自然を活かした特色豊かな地域でもあります。

本校は、令和2年度に開校124年を迎えた伝統校であり、現在全校児童は143名です。平成30年度の北海道胆振東部地震により中学校の校舎、体育館、校地等が被災し、現在、小学校の前の敷地に中学校のプレハブ校舎があり、小学校の体育館やグラウンドなどを共同で使用しています。被災した早来中と校舎の老朽化が進む早来小の建て替えにより令和5年度には、施設一体型の義務教育学校が開校します。それに向け、教育委員会、小中学校の教員が一丸となって準備を進めているところです。



○現任校での勤務状況

今年度は、5年生の担任をしています。義務教育学校開設に向け小中一貫教育が進められており、早来中学校の先生が小学校での乗入授業をしています。5年生には理科担当の先生に入っていただいています。

また、田植え体験、陶芸体験など地域の方が外部講師となる学社融合に町の予算がついており、子どもたちは教科書では学べない多くのことを経験させてもらっています。

今年度は運動会の代わりに秋の体育発表会が行われました。4年生から6年生は鼓笛隊を行い、演奏しながら行進する姿は大変素晴らしかったです。早来小の伝統になっており、6年生が中心となって下級生に演奏の仕方を教えたり、練習を進めたりリーダーシップを発揮していました。そんな6年生の姿から、次年度学校のリーダーとなる5年生を今後も励ましながら指導していきたいと思いました。

校務分掌は、教務研修部でICTの活用を進めたり、道徳教育の推進をしたりしています。また、小中一貫教育推進部会にも所属し義務教育学校開校に向け、取り組んでいます。新しい学校を創る一員になることができ、責任重大ですが、貴重な経験ができ大変勉強になります。



○生活の様子

スーパー、コンビニ、ホームセンター、飲食店もあり、また千歳市、苫小牧市に近いこともあり不自由なく生活することができます。野生動物が多く夜の運転には注意が必要ですが…。(今まで目撃した生き物は、シカ、キツネ、アライグマ、リス、ウサギ、キジ。)

○その他

アットホームな職場で、広域人事として異動してきたことをつい忘れてしまいます。限られた3年間ですが、自分が今までに学んできたことを伝え、様々なことを吸収していきたいと思います。



氏名	高松 修太	現任校	士別市立士別小学校（上川）	前任校	西興部村立西興部小学校（オホーツク）
----	-------	-----	---------------	-----	--------------------

○地域・学校の様子

士別市は人口18,216人、北海道上川地方北部にあり、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々や北海道第2の大河「天塩川」の源流域を有する水と緑豊かな田園都市です。とても美味しい、サフォークラムが有名で、可愛いたくさんの羊たちを見ることが出来ます。北海道内では、読みが同じ標津町と区別するため「サムライしべつ」と呼ばれることもあります。



士別小学校は児童数302名、学級数17（うち特別支援学級5）の中規模校です。開校121周年を迎えた歴史ある学校ですが、ここ数年、周辺校の統廃合が続き、新しい風も入ってきています。職員が40名を超えていますが、半数以上が昨年度入れ替わったばかり。皆で協力して学校づくりを行っています。

○現任校での勤務状況

広域人事2年目となる今年度。6年生の担任をしています。（27名）



校務分掌は研究グループです。現研究部長は「授業改善推進チーム」の一員として他校での勤務も多いので、部長代理として、他のメンバーと協力して研修を進めています。

「最小限の準備で、最大限の教育的効果を！」をキーワードに、一人ひとりが積極的に参加しやすい、問題解決型の授業のような新しいスタイルの研修に挑戦しています。

働き方改革を意識し、現状を見直し、新しいアイデアを出し合っています。年齢バランスもよく、様々な意見を聞くことができるので、とても勉強になっています。

○生活の様子

スーパーもコンビニ、ホームセンターもあり、生活に不便は感じません。高速道路のICまで車で10分もかからないので、他の市町村へのアクセスもしやすいです。

趣味の川釣りやスノーボードを楽しめる環境に感謝です。



○その他

初めての上川管内勤務。オホーツクでの経験をどう生かし、進化させられるか日々修養に励んでいます。気軽な授業交流ができる雰囲気を目指し、色々な先生と積極的に交流しています。昨年度は、隣の学校の先生とも授業を見せ合い、交流することができました。

新たな環境、新たな刺激、新たなつながり……。チャレンジと成長を求める方は、ぜひ広域異動を検討してみてはいかがでしょうか。